

# 「豊野地区の公共施設を考える」 市民ワークショップ ～第3回～

2018年9月15日

主催：長野市（公共施設マネジメント推進課・豊野支所）

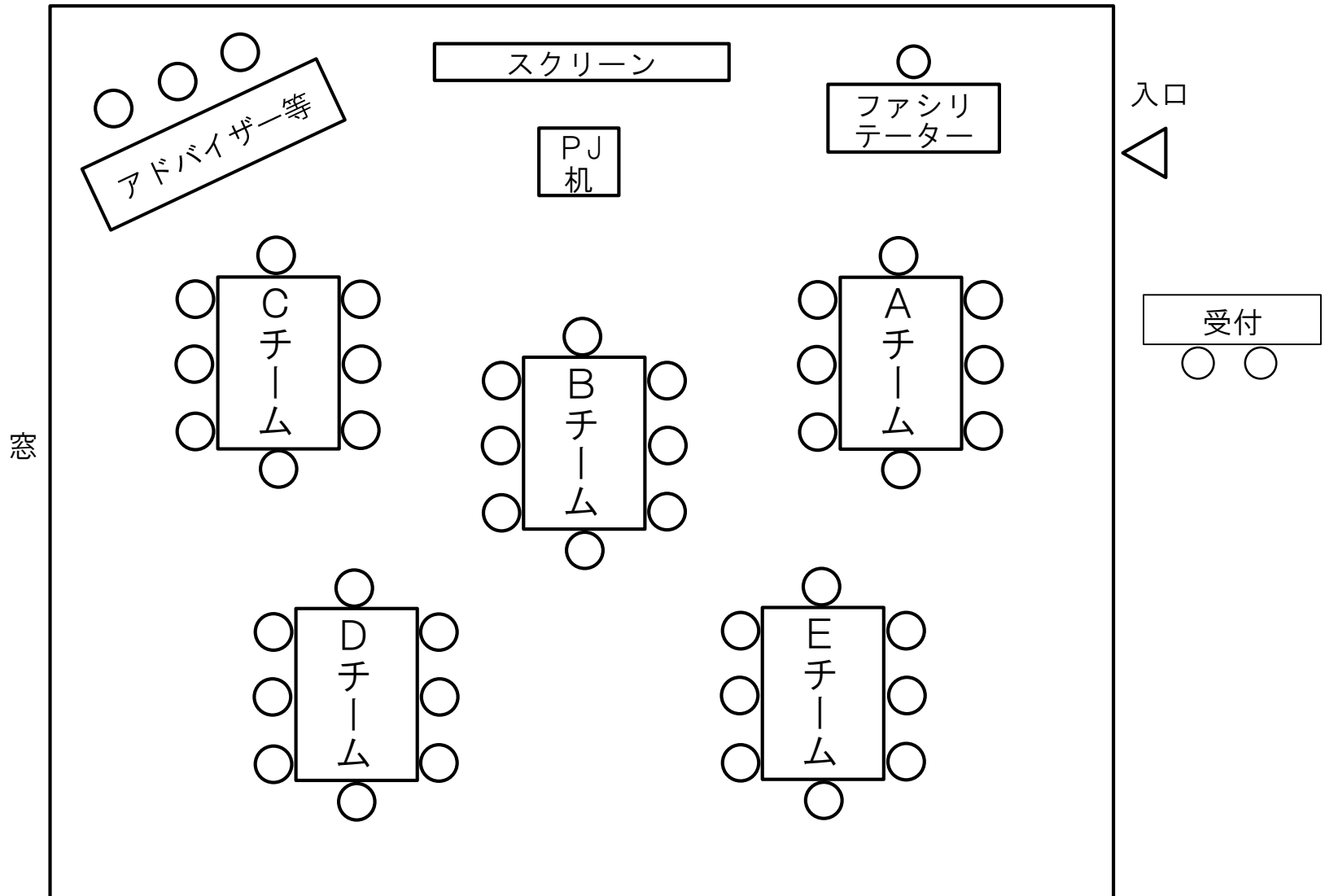
協力：豊野地区住民自治協議会

開催支援：日本管財(株)（一財）長野経済研究所

信州大学工学部建築学科

# 会場案内図

豊野支所 会議室



# ワークショップ全体の流れ

	時間	内容	場所
第1回 ワークショップ	7月28日(土) 14:00-16:00	オリエンテーション グループワーク 「地区の将来、こんな豊野地区を作りたい」 「そのために必要な公共施設を話し合おう」	豊野支所 3階 会議室
第2回 ワークショップ	8月18日(土) 14:00-16:00	グループワーク 「検討対象を絞り込もう」 「公共施設でしたいこと・活動を具体的に考えよう」	豊野支所 3階 会議室
第3回 ワークショップ	9月15日(土) 15:30-17:30	グループワーク 「豊野地区の公共施設の将来像について考えよう」	豊野支所 3階 会議室

# 本日のスケジュール

時間	内容	詳細
15:30-15:50 (20分)	前回の振り返り オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"><li>・前回のグループワークのまとめと提案 (羽藤研究室)</li><li>・長野市の公共施設の状況 (おさらい)</li></ul>
15:50-16:50 (60分)	グループワーク	<p>&lt;テーマ&gt;</p> <p>「豊野地区の公共施設の将来像をまとめよう」</p> <p>「自分たちにできることを考えよう」</p>
16:50-17:10 (20分)	各グループからの発表	1グループ3分で発表
17:10-17:30 (20分)	まとめ アンケート記入・記念撮影	<ul style="list-style-type: none"><li>・信州大学 羽藤先生からの講評</li><li>・住民自治協議会・主催者からの挨拶</li><li>・記念撮影</li></ul>

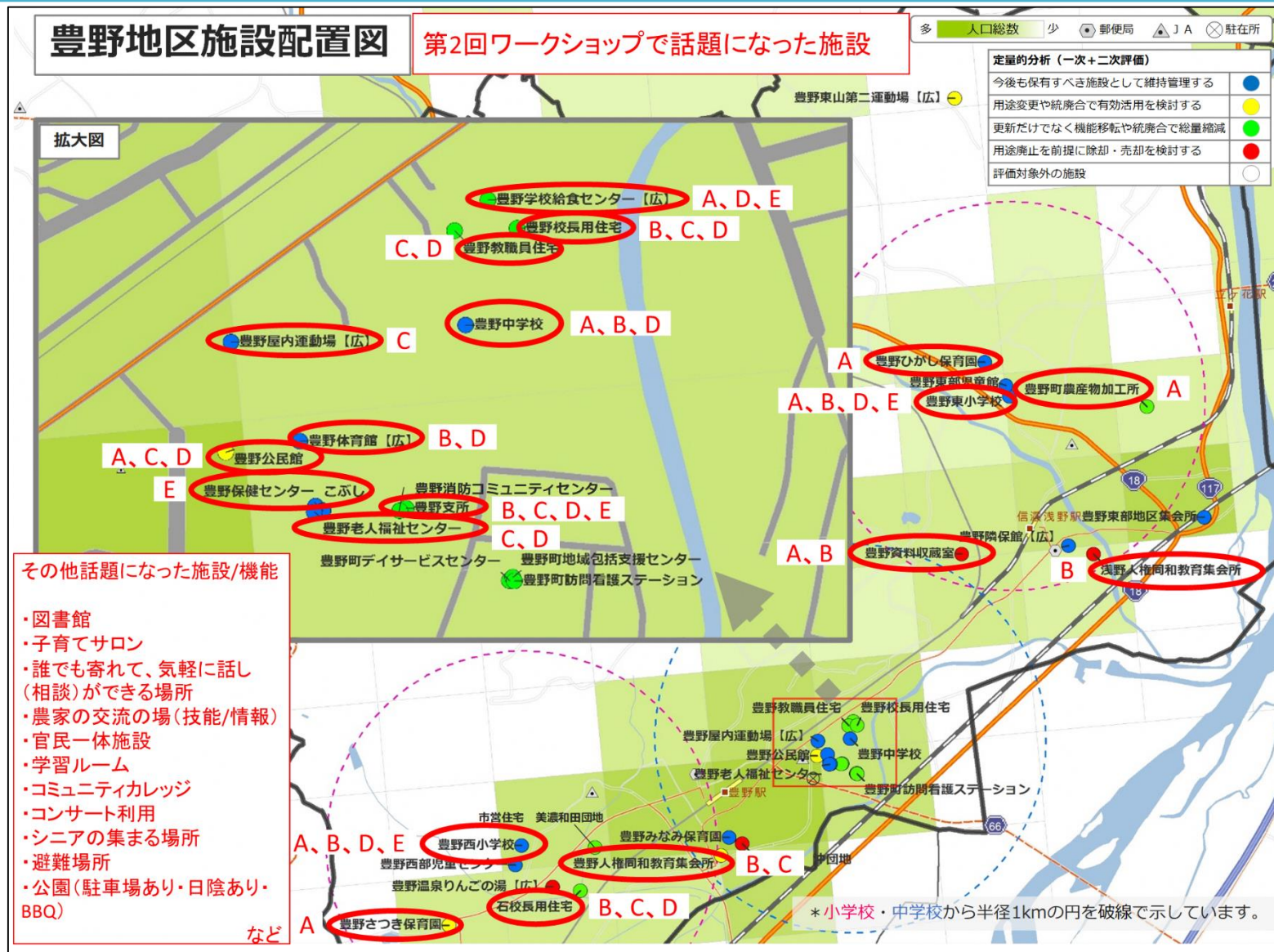
# 前回のグループワークのまとめ

この表紙の資料をご覧ください

第2回 ワークショップまとめと提案

信州大学工学部建築学科 羽藤研究室

# 前回のグループワークのまとめ



# 前回の振り返り

---

## 長野市の公共施設の状況 (おさらい)





# 長野市の公共施設の状況

✓ 施設が古くなってきている



✓ 人口減少・少子高齢化が進んでいる



✓ 人口減少なのに、施設が多いまま





# 将来のシナリオ

こうすると...

建物は簡単には壊れないから、  
とそのままにしておく。



こうなる...

知らない間に建物が古くなり、  
危険なまちに。



今までどおり、すべての建物を建  
て替える。



市の財源の多くを建物の建替えに  
使ってしまい、他のサービスが低  
下してしまう。



計画的に保全せず、その場しのぎ  
の対応をしていく。



施設はたくさんあるけど、使って  
いない施設・部屋があるような？  
今のニーズに合わない。

空室

使用中

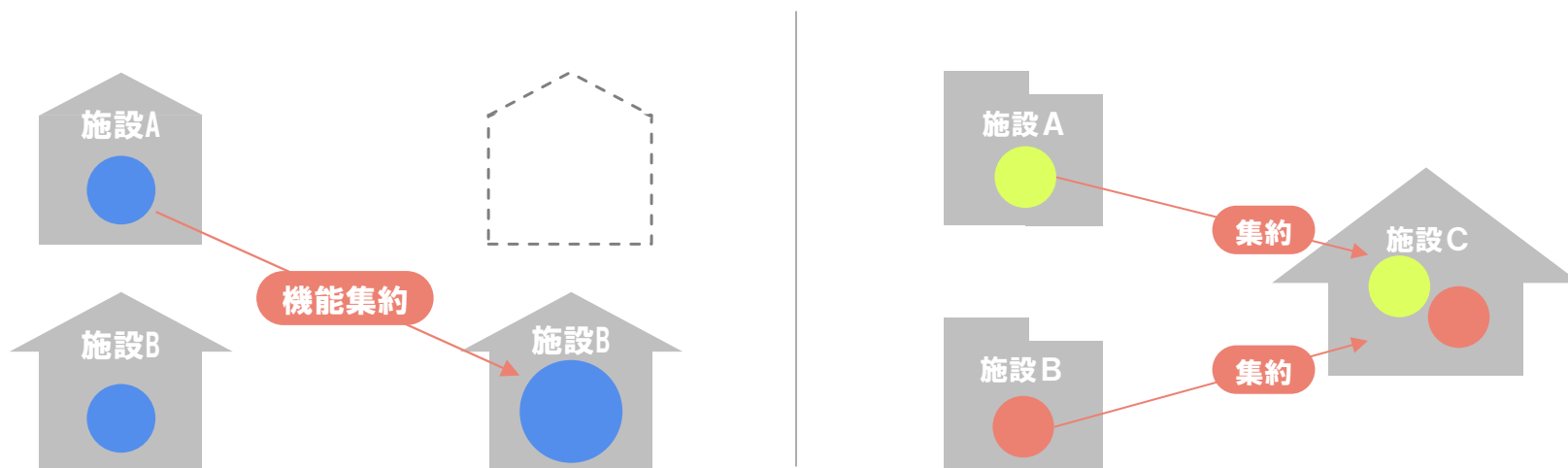
# 公共施設のかしこい見直し方とは？ (より具体的に掘り下げてみる)

以下はファシリテーター一人の見解を含んでいます。



# 公共施設のかしこい見直し方

## 集約化する・複合化する



複合化・集約化すると、いろいろなメリットが...

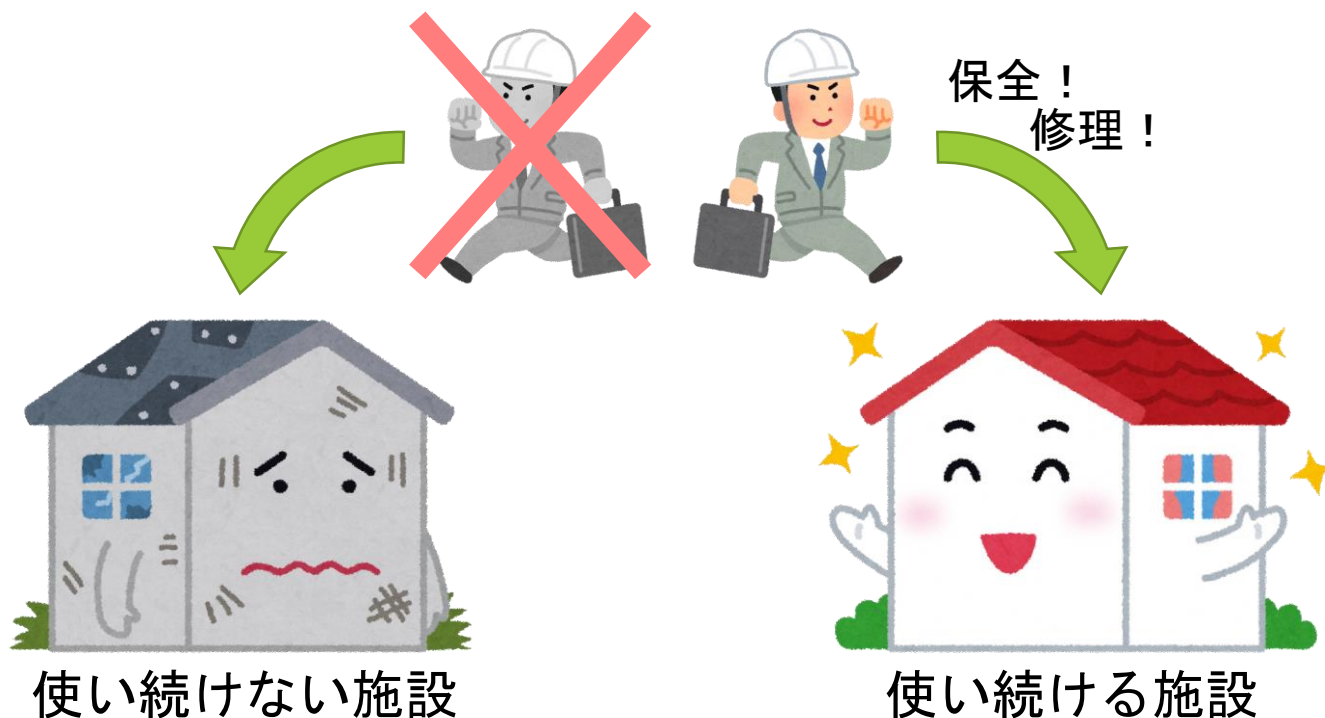
「人が集まることによる活性化」 「移動時間短縮」

「多世代交流」 「人員配置の効率化」

「共用部分の削減（エントランス、廊下、トイレ）」 などなど

# 公共施設のかしこい見直し方

## 使い続ける施設を選ぶ

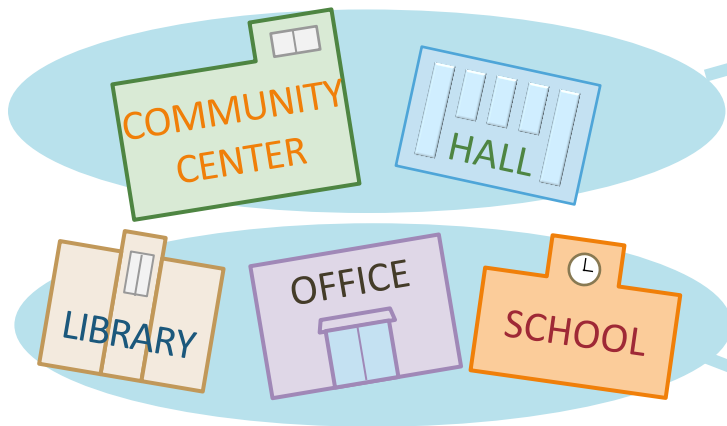


施設を選んで、使い続ける施設はしっかり管理

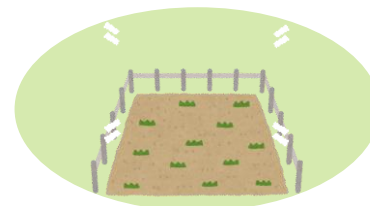
# 公共施設のかしこい見直し方

## 新たな財源を確保する

経費の節減だけではなく...



施設で稼ぐ仕組み  
を作り財源を生み出す



使っていない施設・土地  
を売却して財源を生み出す

# 公共施設のかしこい見直し方

## 限られた財源を上手に使う



医療の充実



観光振興



限られた財源



子育て支援

限られた財源を「必要なところ」、  
「重要なところ」へ使う。  
施設の充実に財源を割く？  
サービスの充実に財源を割く？

# グループワーク

## 豊野地区の 公共施設の将来像をまとめよう



# 模造紙の記入例

## 豊野地区第3回

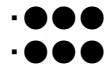


**コンセプト**

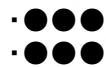
- ・今ある公共施設をうまく再利用していく
- ・子ども達が学校で集まる・遊ぶのとは違う交流できる場所（つながれる場所）

集約型 ・ 分散型 ・ 混合型

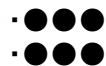
**効果**



**課題**



**自分たちができること**



※上記は前回のDグループの提案を参考にしたものです。記入例としてご覧ください。

# 検討のポイント

- ①前回の結果を参考に公共施設の将来像を考える  
ふせん1つに1つの意見、自分の意見をできるだけ多く書き出す
- ②コンセプトを書き出す  
将来像が集約型・分散型・混合型の  
どれに当てはまったか選択する
- ③将来像の「効果」「課題」を書き出す  
効果 = この提案によって良くなること。メリット。  
課題 = この提案で逆に不便になること。今後に残る課題。
- ④「自分たちにできること」を書き出す

# ワークショップでの約束

---

1. 思いついたらすぐ発言しよう
2. 他人のアイデアを否定しない
3. みんなで振り返る時間を大切にしよう
4. 自由な発想でアイデアを考えよう

# グループワークの結果発表

- ① 1グループ3分で発表
- ② どのような将来像になりましたか？
- ③ 効果や課題はどのようなものですか？
- ④ 自分たちに出来ることは何ですか？

「豊野地区の公共施設を考える」  
市民ワークショップ  
第3回

まとめ

